

Information

2012年6月5日

ランクセス、「間伐材うちわ」で環境保護と東北の復興支援に貢献

ランクセス株式会社

- 全従業員に配布し、社員一人ひとりの環境保護および節電への意識を高める
- 岩手県・釜石市の間伐材を使用し、宮城県・南三陸町の工房で最終作業を行うことで東北の復興支援に貢献
- 2012年の年次テーマ「グリーンモビリティ」を軸に、環境に優しい社会を推進

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)の日本法人、ランクセス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:ペーター・ワインマール)は、6月5日の世界環境デーに合わせて、「間伐材うちわ」キャンペーンを実施します。東北の復興支援をコンセプトに作られた「間伐材うちわ」を全従業員で活用することにより、森林保護および、過度の空調使用等を防いで節電を行い、温室効果ガスの削減への意識を高めます。

この「間伐材うちわ」は、東日本大震災で被害を受けた岩手県・釜石市の杉間伐材を使用しています。震災・津波による人工林の破壊で塩害の被害が拡大している被災地域において、防災林の復元は不可欠です。その豊かな森林を育てるために必要なのが「間伐」です。今回作成したうちわは、防災林復元の過程で生まれた釜石市の間伐材を原料としており、被災地域の林業・木材産業の復興にもつながっています。

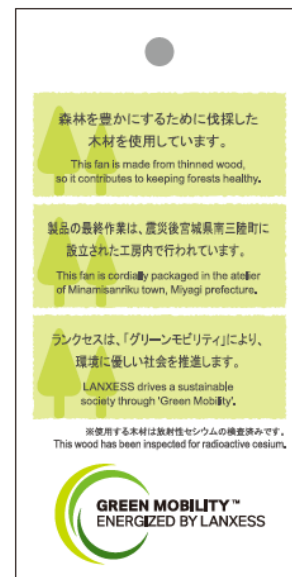
また、本製品の最終作業は、釜石市同様に震災で甚大な被害を受けた宮城県・南三陸町に設立された工房で行われています。内職作業を通じた雇用創出という形でも、復興支援に貢献しています。

ランクセス株式会社では、2008年より世界環境デーに合わせて、「エコバッグ」、「マイ箸」、「エコペンケース」の制作を通じたエコキャンペーンを実施しており、今回で4度目の試みとなります。全社で環境保護に取り組むことで、従業員一人ひとりの環境保全の意識を高めることを目的としています。今回の「間伐材うちわ」によるエコキャンペーンでは、環境保護、節電促進とともに東日本大震災で被害を受けた東北の復興支援にも貢献しています。

こうしたランクセスの環境への取り組みは、2012年度の年次テーマ「グリーンモビリティ」推進の取り組みにも通じており、今回配布するうちわにも、そのロゴマークが刻まれたタグを付属しています。ランクセスは「グリーンモビリティ」を軸に、今後も環境に優しい社会を推進していきます。



ランクセス「間伐材うちわ」



「グリーンモビリティ」タグイメージ

#

ランクセスについて:

ランクセスは、世界 30 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2011 年の総売上は 88 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 16,800 人、世界中に 49 の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス (DJSI World)」および「FTSE4Good」の構成銘柄です。ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。www.lanxess.co.jp

免責について (Forward-Looking Statements):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

その他の情報:

ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の「プレスリリース」項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は photos.lanxess.com (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。<http://corporate.lanxess.com/en/media/audio-video/> (英語)ランクセスのウェブマガジンは下記をご覧ください。<http://webmagazine.lanxess.com/> (英語)

(2012-J00003J)